



八東小学校

## 地震避難訓練

6月14日(水)

6月14日(木)、八東小学校で防災アドバイザーを招いて地震津波に備えての避難訓練と学習会が行われました。

市内全ての小中学校で防災教育に取り組んでいます。八東小学校は広報6月号の記事でも触れられたように、東日本大震災のとき多くの犠牲者が出た大川小学校と地形的に酷似していることから、年間を通して防災学習に取り組み、避難訓練も毎月行うこととしています。

今回は高知県から派遣された防災アドバイザーの高知大学高知地震観測所・久保篤規あつみ教授に全校生徒による避難訓練と避難経路の確認に立ち会っていただき、また5、6年生への地震に関する学習会を行っていただきました。

学習会の内容は地震の起きる仕組みなどが中心、小学生には少し難しいかなという内容でしたが、6年生は修学旅行で被災地を訪問し、その学習を行っているとのことでこの日の内容も理解できた様子。

「地震がなぜ起きるのかわかってよかった。」「今まで学習してきたこと以上に新しいことがわかってよかった。」などと感想を話していました。



避難は近くの出口から、靴も上履き、とにかく早く!



地震は断層のすべりで起こります

## Good-bye

### 四万十市の子どもたち



みなさんこんにちは、コリン・マッカイです。

2年前、私はスコットランドから日本に来ましたが、今年の8月に私は中村を出発します。

日本に来る前、私は高知県や四万十市についてほとんど知りませんでした。しかし、今はもっとここに住んでいたいと思っています。

私は多くの素晴らしい人々に会えてとてもうれしいです。みんながとても優しい!

ALTの仕事は、毎日がわくわくするような挑戦で楽しかったです。25の学校に行って、2500人の生徒たちを教えました。その全員を覚えています!

私にとって四万十市の子どもたちを教えることはとても楽しいことでした。あなたたちが私の教えた英語を少しでも覚えていることを願っています!

四万十市を離れると、いろんなことが恋しくなると思います。食べ物や美しい風景、文化、宴会、雰囲気。しかし、何よりも人を恋しくなると思います。

お世話になりました。さよなら!



コリン・マッカイ  
Colin Mckay



東山小学校での授業

平成22年8月から教育委員会事務局でALT(外国語指導助手)として勤務した2名が帰国します。

みなさんこんにちは、ガブリエル・プレnderガーガストです。

四万十市に住むようになって、約2年が経ちました。この間、私は海に近い下田や八東から山間部の大用までの25の小中学校と、幼稚園でも、ALTとして英語を教えてきました。

全部合わせると、私の生徒達は2500人にもなりました!なので、生徒全員の名前を覚えることは無理でした。残念!でも、みんなの顔はよく覚えています。もうみんなに会えなくなるから、寂しくなります。

思いもしなかったことですが、日本での生活は私に変化をもたらしてくれました。

高知県の美しさや高知の人たちの優しさを絶対にわすれません。

博士号を取ったとき、私はとても変わりました。ここでの2年間は、その時よりさらに大きな影響を私にもたらしました。この一生に一度の経験は、私をもっと幸せにしてくれると感じています。

科学者に戻る時間ですが、そんな日本での経験や思い出を心の中に持って帰ります。

皆さん、心から感謝しています。ありがとうございました!

ガブリエル・プレnderガーガスト  
Gabrielle Prendergast



川登小学校の子どもたちと